

令和7年11月14日（金）実施 地域学校協働活動

南相馬市立石神第一小学校 放課後子ども教室

秋月山 千相院訪問 14:30~15:50

参加者：石神第一小学校児童4名 スタッフ8名

- ・あいさつ
- ・お寺の歴史
- ・鳴らしものの体験
- ・施設見学
- ・お礼の言葉

【今回使用した写真は全て相双教育事務所のデジタルカメラで撮影したものです】



学区にあるお寺の秘密を聞きました

南相馬市立石神第一小学校放課後子ども教室は、地域に飛び出して、様々な見学や体験をしたり、ニュースポーツをしたりと、ふだん学校ではできない学びを子どもたちに提供しています。

今回の訪問では、学区内にあるお寺を訪問して、見学と体験を行いました。なぜ、お寺の見学をしたのかというと、実はこのお寺が石神第一小学校のルーツだからです。江戸時代から寺子屋として地域の子どもたちに読み、書き、そろばんを教えていたそうですが、明治6年の学制の施行に合わせて小学校となりました。

当日参加していた6年生も改めてこの事実を聞くと、大きくなづきながら興味津々の様子でした。4年生は「ひいじいちゃんは、寺子屋に通ってたんだよね」と話していました。自分たちの通う学校の歴史を知ることは、故郷を愛し、地域の一員としての自覚を高めることにもつながります。

オンとオフができる場所

当日お世話したくれた住職の島村さんは、きちんとしたお寺の作法を教えてくれながらも、「リラックスして過ごして欲しい」と何度もおっしゃってくださいました。しかし、お寺に到着するまでは、元気いっぱいだった子どもたちでしたが、「足を崩していいですよ」と言われても、きちんと正座しながら話を聞いていました。お寺の雰囲気が、子どもたちにきちんとした姿勢で、きちんと話を聞かなくてはならないということを感じさせたのでしょう。読経をしたり、焼香をしたりする場面でも、みんな真剣に取り組んでいました。

鳴らしものの体験

落ち着いて話を聞いた後は、お寺にある鳴らしものを体験させてもらいました。木魚やおりん、太鼓といった有名な物だけではなく、鉦（はつ）、柝（たく）、磬子（けいす）といった普段は触ることができないものを特別に使わせていただきました。これは子どもたちだけではなく、スタッフの大人たちも興味深く体験していました。



社会教育としての学び

今回の放課後子ども教室も、子どもの学びだけではなく、大人自身も学ぶことができました。地域の子どもたちの世話をしながら、大人たちの学びにも広げることができました。何歳になっても、新たなことを知ったり、体験したりすることは、人生を豊かにしてくれます。石神第一小学校放課後子ども教室には、子どもから大人までの Well-Being がありました。